

青少年 とちぎ

平成23年11月15日

第193号

CONTENTS

「うちはうち、よそはよそ」
シリーズ「とちぎの市町村民会議」
シリーズ「育成活動の実際・意見」
各事業所だより
みんなでおふる
「国家の品格」～これからの若者へ～
総合文化センターご利用の案内



「県民の集い」講師の藤原正彦氏

<http://www.tmf.or.jp>

【発行】財団法人とちぎ未来づくり財団 宇都宮市本町1 8 栃木県総合文化センター内 TEL028 643 1005 FAX028 650 5284 E-mail:kusei@tmf.or.jp

「うちはうち、よそはよそ」

9月17日(土) パルティ(とちぎ男女共同参画センター)において今年も「少年の主張」県大会が開かれ、地区大会の代表17人が堂々と発表を行いました。最優秀賞には、那須中学校3年の高久瑠光さん(全文次ページに掲載)が選ばれました。他、入賞の結果は右のとおりです。

宇都宮市立一条中学校長の久保徹先生から、以下のとおり講評をいただきました。(抜粋)



皆さんの主張の中にもありましたが、本年3・11に起きた東日本大震災は私たち日本人すべてに大きな影を落としました。私には、みなさん一人一人の発表に、直接的

に間接的に、人の温かさや関わろうとする態度が感じられ、皆さんの力が、今後震災を乗り越え、復興の大きな力となるという確信を持ち、すばらしい場をとともにできたと感じました。

今年の題材は、障害者や高齢者との関わりなど福祉や家庭に関する事、病気や食糧問題に関する事、地域を守る事などさまざまでしたが、共通していることは、身近な経験や体験をもとに、中学生の視点で題材を捉え、これからの生き方につなぐ形で主張をまとめているということでした。そして、人と人とのつながりやかかわりの大切さ、支えあうことの重要性などを、論を進めていく中で述べるものが多く、その結果として、笑顔でのふれあいやありがたい言葉掛けを実践されている様子が見え、豊かな心が育っているなと思いました。また、問題意識をもって述べられる言葉の1つ1つの力強さが、私たちを含め、聴衆の心に響いていたと思います。

とりわけ、最優秀賞に輝かれた、那須町立那須中学校の高久瑠光さんの主張については、発表の仕方はおさえぎみでしたが、「お母さんが旗を振るシーン」が脳裏に浮かぶなど感動が伝わってきました。そして、周囲を『よそ』として、よその支えを通じた自己の成長により、ものの見方が変わってきたことが、よく表現されていました。

関係者の皆様、保護者の皆様、指導に当たられた先生方、そして発表された生徒の皆さん、さらに司会など運営に協力いただいた陽西中学校の皆さんに厚くお礼申し上げます、講評とさせていただきます。

第34回栃木県少年の主張発表県大会 結果一覧

賞	発表者	学校名・学年	表題
最優秀賞	高久 瑠光	那須町立那須中学校 3	「うちはうち、よそはよそ」
優 秀 賞	野澤 美祈	上三川町立明治中学校 3	日本の食を守る
	高久 絢女	那須塩原市立日新中学校 3	手のひらのメッセージ
	森島 香里	那須烏山市立烏山中学校 3	母からの贈り物
奨 励 賞	高久 葵	栃木市立皆川中学校 3	輝く人をめざして
	田代真由子	鹿沼市立加蘇中学校 3	住みよい世界を目指して
	佐藤 夏子	栃木市立東陽中学校 3	かけがえのない地域を守りたい
	大貫 純花	鹿沼市立板荷中学校 3	無縁社会からの脱出
	吉岡 優美	宇都宮市立鬼怒中学校 3	当世友情気質
	渡邊 良太	鹿沼市立東中学校 3	ありがとうの気持ちを込めて
	小口 一樹	茂木町立中川中学校 3	心を開いて
	阿久津 諒	高根沢町立阿久津中学校 3	「かわいそう」が教えてくれたこと
	渡邊 梨奈	宇都宮市立国本中学校 3	「大変なこと」から「当たり前のこと」へ
	小林 惇希	佐野市立北中学校 3	本当の豊かさとは
知久秘菜乃	芳賀町立芳賀中学校 3	こころの充電	
松本 優香	栃木市立栃木南中学校 3	心に太陽を持って	
高瀬 沙織	足利市立山辺中学校 3	生き方について考える	

最優秀賞（栃木県知事賞）

「うちのうち、よそはよそ」

那須町立那須中学校 3年 ^{たか}^く^る^み 高久 瑠光



「うちのうち、よそはよそ」それは、ソフトボールの試合の応援に母が来れないときに私に言う言葉です。母はどんな思いでこの言葉を言っていたのでしょうか。この言葉を口にする母の顔はいつも、優しくほほえんでいましたが、どこか悲しそうにも見えました。

我が家は母が大黒柱です。母は、私たち家族のために毎日忙しく働いています。私は、小学生の頃からソフトボールをやっています。小学生の頃は、試合の応援に両親がそろって来ている人をうらやましく感じ、母に言い寄ったことがありました。そんなとき、母は必ず「うちのうち、よそはよそ」と言うのです。幼かった私は、その言葉を聞くたびに胸が苦しくなりました。

いつも家族のことを一番に思ってくれている母は、ソフトボールに励んでいる私をずっと支えてくれました。そんな母のために、私は練習に練習を重ねました。頑張っている姿を母に見せたかったのです。そして、小学校最後の夏に県大会優勝を果たした私たちのチームは、全国大会出場を決めることができました。出発の日の朝、すでに仕事に出てしまった母が準備してくれた荷物を持って、私は家を出ました。学校には、同級生や保護者の方たち、先生たちが見送りに来ていましたが、母の姿はありません。「うちのうち、よそはよそ」と自分自身に言い聞かせたものの、やはり淋しさがぬぐいきれませんでした。バスが走り始め、母のことを忘れかけた頃、バスは高速道路のインターに入りました。ゲートを過ぎたそのときです。一人の女性が大きな旗を力いっぱいふっている姿が目飛びこんできました。その人こそ、インターに勤めている母だったのです。母は出発時間に合わせて見送るつもりでいたのでしょうか。それに気付いたバスの運転手さんは、気を利かせてくれたのか一旦止まってくれ、みんなで手をふりました。母はバスがカーブにさしかかり見えなくなるまで、旗をふり続けていました。



「みんな、悔いの残らないように戦ってきてね」という母の声が聞こえてくるようで、思わず涙がこぼれそうになりました。母は、一日遅れて応援に来てくれました。私にとって、一生忘れられない思い出です。

私は、中学校三年間も大好きなソフトボールに打ち込みました。

ふり返ってみると、どれだけの人に支えられてきたことでしょうか。熱心にアドバイスしてくれた方、試合中、怪我をした私に病院まで付き添ってくれた方、試合場所の送迎や、試合中の私たちへの気配りなど、振り返ってみれば私を支えてくれたのは、「うちのうち、よそはよそ」のまさしく「よそ」の人たちです。私が好きなことに励んでくれたのも、母と、そして「よそ」の人に支えられ見守られてきたおかげなのです。多くの人の支えがあったからこそ、ソフトボールをやることができたことに、大きな幸せを感じます。

あの三月の東日本大震災の後、悲惨な被害の実情が連日報道されています。日本や世界各地から被災地を応援している人たちを見て、私は人と人はつながっていると感じました。辛い思いをしている人のために、何かをせずにはいられない。人は一人では生きていけない。人と人は様々な形で互いに支え合って生きているのです。私がこうして普通に生活できるのも、その上好きなことに打ちこめるのも、人とのつながりがあったからなのです。

あの見えなくなるまで見送ってくれた母の姿を思いだすたびに、母への感謝の気持ちでいっぱいになります。「うちのうち、よそはよそ」と言いながら、「よそ」の人の温かさを一番に教えてくれたのは、母でした。そんな母に、精一杯の親孝行がしたい。そして、母だけでなく私を支えてくれた「よそ」の人にも恩返しができるような生き方をしたい。私にとって、とても大切なひとだから。「うち」の人も、「よそ」の人も。

なお、高久さんは、第33回少年の主張全国大会の関東・甲信越静ブロックの代表に選ばれ、11月13日の全国大会に出場しました。



司会進行を務めた陽西中の皆さんも一緒に記念撮影

佐野市の青少年とともに育つ市民の会

佐野市の青少年とともに育つ市民の会（以下、市民の会）は、今年の6月26日に市内37団体の加入により設立されました。

市民の会の設立により、青少年育成団体の連携と活動の充実が図られ、市民の青少年健全育成の意識が高まり、「次代を担う佐野市の青少年の健全育成を図る」市民総ぐるみの運動が展開できるものと考えています。

今年度の事業としては、11月26日に、青少年育成の意識高揚の活動として、落語家の桂才賀さんをお招きし、設立記念講演を予定しています。また、年度末には、広報紙の発行を予定しております。

しかし、市民の会は、歩み始めたばかりです。今後、様々な問題があるかとは思いますが、一步一步着実に進んでいきたいと思えます。

市民の会が、市民みんなの組織となる事を目指し活動して参りますので、今後ともご指導よろしくお願ひいたします。



上三川町青少年育成町民会議

上三川町青少年育成町民会議は、町内の小中高等学校の代表者、PTA、子ども会連合会の代表者等の18名で構成されており、(財)とちぎ未来づくり財団によるご指導をいただきながら、平成23年に設立されたばかりの真新しい団体であります。

地域における青少年育成の住民運動を総合的に推進することを目的に、平成23年度事業では、7月に「社会を明るくする運動」・「青少年の非行・被害防止全国強調月間」にあわせ、町内スーパーの街頭に出向き啓発活動を実施しました。さらに11月には「子ども・若者育成支援強調月間」として啓発活動を実施しています。

本町には、地域社会の中で諸事業を通し、社会性を身につけ創造性を伸ばす活動をしている青少年団体があります。一つが上三川町スポーツ少年団です。スポーツ少年団は、町内の小中学生136人で構成され、日々の地道な練習活動等のほか、8月には茨城県海浜自然の家にて野外研修を行い、12月のしらさぎマラソン大会の前にはコース上の清掃活動を実施するなど、地域の皆さんのご支援のもと社会参加をしています。もう一つが、上三川町少年少女合唱団です。少年少女合唱団は、小中学生40数名により組織されており、栃木県合唱連盟主催の定期演奏会を目標に日々の練習を重ねると共に、町文化祭や各種イベントなどに参加するなど活動しています。このような青少年の活動は、心豊かな人づくりに、また、健全な社会の構築に大きく貢献しているものと思えます。

今後は、次代を担う子ども達を健やかに育てるために各種団体と連携を密にし、健全な家庭と地域づくりのための活動を、積極的に勧めていきたいと思えます。



標高1,200m 爽やかなみどりの空間大笹牧場ようこそ

風、空、雲、空気-----すべてが新鮮

スノーモービルランド

雪景色が美しい スノーモービルやそり遊び

おいしいお食事を楽しんでいただけます

レストハウスで舌つづみ

霧降高原道路(無料)終点

○入場・駐車無料 ○年中無休

<http://www.tochiraku.or.jp/oozasa/>

TEL 0288-97-1116

FAX 0288-97-1120

(株)大笹牧場

〒321-2792

栃木県日光市瀬尾字大笹牧場3,405





青少年の育成に携わって（見つけて磨いて未来を築こう）

栃木県青少年指導員（県北健康福祉センター） 山口 政雄



那須地区青少年育成推進連絡協議会の事務局を担当し、2年目となります。

当協議会は、大田原市、那須町、那須塩原市の2市1町にて構成し、青少年の健全育成の推進活動に取り組んでいます。5月早々の役員会、総会に始まり、7月、10月開催の「第1回、第2回青少年健全育成研修会」、7月、11月の2回に分けての青少年に有害な図書等の自販機やコンビニ、書店、ゲームセンター等への「立入調査」、9月上旬の「少年の主張発表那須地区大会」、9月下旬の後半の事業検討や会員研鑽の「青少年育成指導員部会会議・研修会」、11月中旬の「先進地視察研修会」等の事業を実施しています。さらに12月には、役員（部会員）による親睦と事業反省を兼ね宿泊研修会を行っています。

これらの事業の推進にあたっては、青少年育成指導員、代表青少年育成推進員の皆さんを始め、市町村行政主管課・少年指導センター、那須教育事務所、大田原・那須塩原警察署等の皆さんの多大な御支援、御協力をいただいております。事業を行う毎に相互の理解と親近感が深まっています。

なかでも、「少年の主張発表那須地区大会」は、管内中学校から24校の代表生徒さんが参加し、いつも感動の渦に包まれます。中学生がこんなにも世の中のこと、人生や夢を考えたり、苦勞や努力を重ねたり、それはそれは頬をつたい流れでものを止められません。御担当の先生の御指導、学校を挙げての御支援に改めて感謝申し上げます。

時々、青少年の非行や暴力事件等がニュースや新聞で報道され、よく、「両親がいない」とか「片親だった」とか論じられます。私は、そのたび、すごい憤りを感じます。私事ですが母が私をこの世に授け、若くして父も亡くしました。世の中にはこのような人はたくさんいるし、不憫に思ってくれる方もたくさんいますが、多くの皆さんが辛さや甘えに負けないで自分に厳しく頑張っているのにと、悔しく胸が痛みます。

今年は、大震災があり、「絆」の大切さ「支えあい」という思いやりの心を、日本中で育みあい、また、10月1週に完了したNHK朝の連続ドラマ「おひさま」も、ヒロイン、太陽のような陽子さんの前向きな気丈なお姿や、ひらがなの題字にも一層のやさしさと力を与えていただいたことと想います。

それにしても当協議会の青少年育成指導員・推進員等の皆様の、自分の仕事をさておいての青少年の健全育成への深い思いと取り組み、そして活動に心から敬意と感謝を申し上げる次第です。

挨拶と子ども達とのふれあい

栃木県青少年育成指導員（栃木市） 福富 良夫



青少年育成指導員の委嘱を受けて5期10年になりましたが、初めのうちは、何をやれば良いのか、どんなことをするのかさっぱりでした。

あの今市の小学生の痛ましい事件以来、各地区で登校、下校時の子どもサポート隊が出来ました。私もそれに進んで参加させてもらっています。朝、地域の子ども（小学生）を学校まで送って行き、午後は1年生から6年生の下校時間に合わせて雨風に係わらず、自分の用事のある時以外は毎日サポートを行っています。通学路は町道で、車の往来があり雨の日には特に気をつけて子どもの安全を願い歩いていきます。最近の子どもは、学校の中では良く挨拶はしますが、学校外ではこちらから挨拶しても返事のない事が多いようです。

小学生、中学生、高校生に声をかけていけば、コミュニケーションが取れると思いき、おはよう、こんにちはの声をかけるようにしています。最近では、子ども達も行き会えば返事が返って来るようになってきたと思います。お互いに挨拶を交わしていれば、社会問題化している非行やいじめもなくなるのではないかと思います。

日常生活の中でも、また家庭の中でも挨拶は大切な事ではないかと思います。家庭のきずな、友達とのふれあいをもっと大切にしていけば外に出て挨拶が自然と出来ると思います。これからも子ども達とコミュニケーションを取りながら活動していきたいと思っています。



親への支援

栃木県青少年育成指導員（益子町） 竹谷 浩



先日、「少年の主張発表地区大会」の時に警察の生活安全課の方と、お話する機会がありその方の話に改めて考えさせられました。その方が言うには「私たちは日頃青少年と接する機会は何か犯罪や非行をした青少年が多く、このような立派な主張が出来る子供たちがまだまだいっぱい居るとても安心しました。」と・・・

我々の育成指導員としての使命は色々な活動を通して子供たちが横道にそれる事なく健全に育つ様に見守り手助けをする、たとえばそれは病気になる前に、しっかりと予防しておくことと同じであり非行も犯罪も未然に防ぐのが一番大切だなと考えています。

しかし、現在の様に情報が溢れ色々な誘惑のある社会環境の中、健全に育つ事は大変な事です。「三つ子の魂、百まで」と云いますが幼い頃からの躾教育などは、本当に重要になってくると思います。本来から言えば、それは親の仕事、責任だと思いますが昨今の現状は、その親の方を指導しなければならない様な事が多くなってきたと感じます。

そこで考えた事ですが、我々の活動に幼児期の子供たちやその親達を対象とした活動も取り入れたらどうかと思います。「それは親の仕事だから」と突き放して良い方に向かう時代では無くなって来てしまったのかと考えるからです。

あの生活安全課の方に安心して頂ける様な立派な主張が出来る子供たちに育つ様に、これからも自分なりに力になりたいと考えております。

未来づくりの子ども育成

栃木県青少年育成指導員（那須塩原市） 三本木 忠二



未来づくり財団：青少年育成課・こども未来課...本年4月にスタートした栃木県における青少年の健全育成を所管する新組織の担当部署名称には、素晴らしい「ゆめ」のある響きで、希望の持てる大きな夢が感じられます。

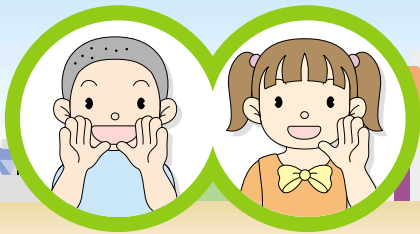
地域における組織・団体等を通して青少年達との関わりを始め、幾つかの奉仕活動をさせていただいていますが、ふと、思うことに。

この育成奉仕に関し、今はもう過去の言葉で、もう忘れ去られた言葉と思いますが、「向こう三軒両隣」と「結い」の精神で、地域全体の子育ての関わり方に戻れないものでしょうか。

このことは、子育て・青少年の健全育成に限らず、地域福祉等全てに共通することと思いますが、テンポの速い、目まぐるしく変わる現代社会においては無理な事で、昔を懐かしむ老兵の懐古に過ぎないものでしょうか。

奉仕活動の一つで取り組んでいる更生保護の分野においては、ここ数年前から「地域のチカラ」を、青少年の健全育成をはじめ立ち直りを支える、更生保護全般の合い言葉としての取り組みをしています。

夢のある、未来づくりの子ども育成のために、「向こう三軒両隣と結いのチカラ」を「地域のチカラ」として、更には皆さんの「チカラ」をいただきながら健全育成に努めていきたいと思ひます。



各事業所だより



第59回企画展



「とびだそう宇宙へ! ~ 宇宙に広がるわたしたちの未来 ~」

日時：平成23年7月16日(土)~平成23年8月31日(水) 9:30~16:30

ただし7月19日(火)・8月1日(月)・8月8日(月)・8月15日(月)・8月22日(月)・8月29日(月)は休館日

場所：わくわくグランディ科学ランド 多目的ホール・企画展示室・メインホール

内容：小惑星探査機「はやぶさ」実物大模型や「きぼう」日本実験棟実物大体験模型などをはじめ宇宙開発を分かりやすく体験する企画展を開催しました。7月21日~25日には本物の小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルを展示しました。他にも宇宙を旅する宇宙自転車や、ロボットアームシミュレーション・月面探査シミュレーションなどの体験型のコーナーやポイントラリー・スタンプラリーなど、20数種類の展示等を行い、たくさんのお客様に体験していただきました。期間中の入場者数は約7万人でした。



「海浜釣り入門」



9月10日(土)~11日(日)の1泊2日で、主催事業「海浜釣り入門」を行いました。今年度は津波の影響により、人気の高かった大洗港での堤防釣りコースができませんでしたが、代わりに涸沼川での川釣りを設定して実施しました。

コースは「投げ釣り入門コース」「投げ釣り経験者コース」「涸沼のハゼ釣りコース」「涸沼川セイゴ釣りコース」の4つ。天候にも恵まれて、参加者の皆さんはそれぞれに自分の選択したコースに楽しく取り組みました。

1日目は投げ釣りの練習をしたり、塩づくりや貝笛づくりなどのプログラム活動を行ったりして、自然の家で活動しました。投げ釣り入門コースの人は、時間いっぱいになるまで一生懸命練習している姿が見られました。

そして2日目。コースごとに会場に分かれて釣りを行いました。はじめはなかなか慣れない手つきでえさをつけたり、仕掛けを投げたりしていた人たちも、次第に上手になっていき、活動が終わる頃には、「もっとやりたい」という声が多く聞かれました。

参加者からは「また来年も参加したい。」「今度は別のコースをやってみたい。」などの感想が聞かれ大変好評でした。海浜自然の家では、これからも季節にあった主催事業を用意しています。多くの皆さんの御来所を心よりお待ちしております。



投げ釣り入門コース



涸沼のハゼ釣りコース



涸沼川のセイゴ釣りコース



「冬のファミリーデー」のお知らせ



なす高原自然の家

実施日：平成24年1月28日(土)～29日(日)1泊2日
2月18日(土)～19日(日)1泊2日

主な内容：雪遊び・スノーシュー体験等

対象：県内在住の親子・家族(3歳以上)

定員：各20組 申込み多数の場合は抽選となります。

参加費：お問い合わせください

申込み：電話またはハガキ・FAXで、なす高原自然の家までお申込みください。

【記入事項】氏名(フリガナ)・年齢(学年)・性別・

生年月日・郵便番号・住所・電話番号

申込先：なす高原自然の家

〒325-0301 那須郡那須町湯本157

TEL 0287-76-6240 FAX 0287-76-6241

申込期間：平成23年11月28日(月)～平成24年1月5日(木)【必着】

その他：ボランティアも同時募集

詳細については、なす高原自然の家へお問い合わせください。

HP URL <http://windy-nasu.jp/>



先人たちの出会い

埋蔵文化財センターの20年



日時：平成24年1月28日(土)・29日(日) 9:00～17:00

会場：栃木県総合文化センター第2ギャラリー(ギャラリー棟1F)

展示イベント

埋蔵文化財センターも設立から20年を迎えます。この間に発掘された遺跡の中から、重要な遺物を展示しますので、是非ご覧下さい。

お楽しみに。

体験イベント

本物の土器にさわろう。
土器や古代瓦の文様を写し取ろう(拓本体験)

当日は考古学のプロが解説します。お気軽にお越し下さい。



✎ 秋季特別展開催中です！

栃木県立しもつけ風土記の丘資料館では12月4日（日）まで、第25回秋季特別展「ムラから見た奈良・平安時代」寺や役所が立ち並ぶなかで を開催しています。

「ムラからの視点」を共通テーマに古墳時代から奈良・平安時代の社会を考えてきた秋季特別展ですが、3年目の今回は奈良・平安時代のムラにスポットをあてます。

中央集権国家へと国家体制が変化していく中、一般の人々はどんな暮らしをしていたのでしょうか？県内各地の集落遺跡からの出土品を通じて、生業や交流、文字や葬送など古代下野国のムラの暮らしを探ります。

また、期間中の毎週土曜日・日曜日には特別企画として、下野国分寺跡でも出土している焼物の供養塔のミニチュアをオープン粘土でつくる体験教室、「泥塔」をつくろうも開催していますので、ぜひご来館ください。

しもつけ風土記の丘資料館

下野市国分寺993 TEL 0285-44-5049

開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）

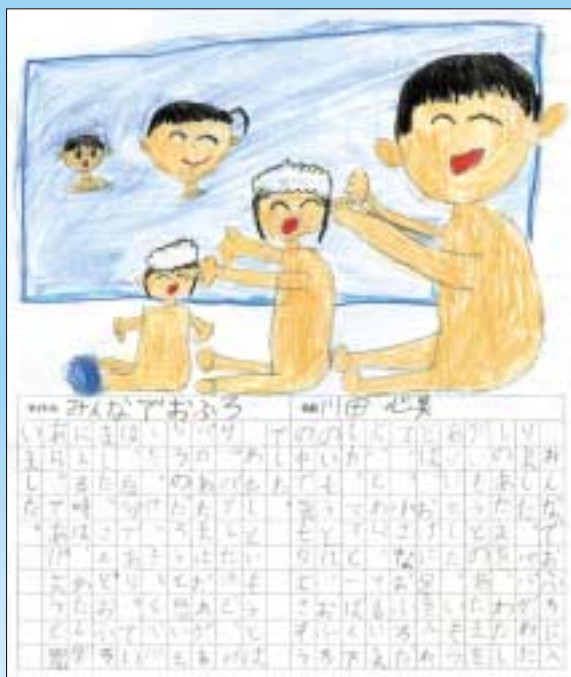
観覧料（一般100円/高校・大学50円/中学生以下無料）

休館日 月曜日及び祝日の翌日

URL : <http://www.shimotsuke-f.jp/>



2011心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成する県民運動～とちぎ心のルネッサンス～



「家庭の日」

絵日記

コンテスト

ふれあい育む「家庭の日」を広く県民の皆様へ広報・啓発するために、家族のふれあいをテーマとした「絵日記」を募集しました。

家族の団らんの様子や、家族との楽しい思い出などをいきいきと表現した701点の作品の応募があり、以下のとおり入賞者が決定しました。

■優秀賞 小室 芽衣さん
相馬 あすかさん

■優良賞 阿久津 真鈴さん 白川 瑠夏さん
石渡 莉子さん 松井 綾花さん
磯 幸輝さん 丸山 詩生さん
齋川 雨音さん 水戸 ゆいさん
下川 幸太さん 山田 凌さん

■学校賞 真岡市立山前南小学校

■最優秀賞

「みんなでおふろ」

川田 心美さん（佐野市・閑馬小学校）

青少年育成市町村民会議 地域懇談会開かれる



西那須野庁舎にて

今年度は青少年育成運動の一層の連携を深めるため、各教育事務所の方もお招きしての開催としました。

会議では、平成23年度県民会議事業説明の後、各市町村民会議の活動状況についての説明がありました。今回は市町村民会議の民営化や会費の徴収など、今後の重要な課題が提示され、活発な意見交換が行われました。

会場を準備してくださった、小山市、芳賀町、那須塩原市の皆様には大変お世話になりました。

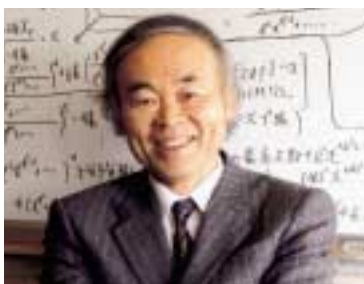
懇談会	時	所	参加人数	懇談内容
県南懇談会	6月21日(火)	小山市中央公民館	38名	会費徴収の方法、市町村民会議と行政の関係など。
県央懇談会	6月24日(金)	芳賀町民会館	40名	行政からの補助金の中身、市町村民会議の民営化など。
県北懇談会	6月28日(火)	那須塩原市 西那須野庁舎	39名	「発達障害」「児童虐待」等青少年の新たな課題への取り組みなど。

さらに3つの青少年育成市町村民会議設立

今年度新たに3市町で市町村民会議が設立となりました。これで県内の市町村民会議は26市町となり、県内全市町での設置が実現しました。

市町村民会議名	会長	設立月	予定事業(主催、共催、後援)等
佐野市の青少年とともに育つ市民の会	津布久捨三郎	平成23年7月	教育フォーラム、クリスマスサンタ、かるた取り大会等
塩谷町青少年育成町民会議	手塚 功一	平成23年9月	しおやの子どもを育てるフォーラム、家庭の日作文コンクール等
さくら市少年指導員会	岡 一雄	平成23年10月	街頭巡回活動、親子体験活動、広報紙の発行等

お知らせ 平成23年度 心豊かな青少年を育む県民の集い



開催日時：平成24年1月21日(土) 13:30～15:40(受付12:45～)

会場：栃木県総合文化センター サブホール

参加費：無料

定員：450名

内容：第1部 青少年の発表 など

第2部 講演 「国家の品格」～これからの若者へ～

講師 藤原正彦氏

主催：心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成する県民運動

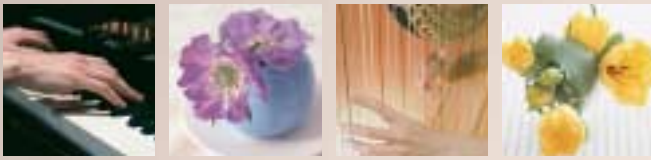
～とちぎ心のルネッサンス～運動推進本部

栃木県総合文化センター

お申し込み方法：次のいずれかの方法でお申し込みください。お申し込み1件につき、2名様(ご本人を含めて)まで受付いたします。

1. FAX.....お名前、電話番号、FAX番号、来場希望者数記入の上、下記FAX番号で。
2. 往復はがき...住所、お名前、電話番号、来場希望者数をご記入の上、下記の住所あて。
3. Eメール.....お名前、電話番号、来場希望者数をご記入の上、下記アドレスあて。

〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8 栃木県青少年育成県民会議「県民の集い」係
TEL 028(643)1005 FAX 028(650)5284 Eメール ikusei@tmf.or.jp



栃木県総合文化センターで公演、発表、練習をしませんか？

本年度、栃木県総合文化センターは開館20周年を迎えました。全てのお客様に支えられ、これからお客様とともに、未来に向かって歩んでいきたいと思っております。当センターにはお客様のニーズに合わせた各種施設があり、経験豊富なスタッフが皆様のお手伝いをさせていただきます。スタッフ一同ご利用をお待ちしております。

メインホール

ホール棟（南側）



定員1,604名のプロセニアム型の多目的ホール。各種式典や講演会、クラシックから演歌、お芝居、バレエなど様々なジャンルの催し物に対応します。客席

と舞台のほどよい距離が良好な環境をご提供。

舞台と同じ階に配置された楽屋まわりも好評です。

サブホール

ホール棟（南側）



可動式舞台は、研修会から音楽発表会、ファッションショーなど自由な発想で舞台をつくることができます。200～400名程度の催し物に特にお勧めです。

練習室 / 会議室

ギャラリー棟（北側）

自由に発声やダンスができる練習室も充実しています。個人でのご利用もちろんOK!! 和室では、茶道や少人数の打合せ、着付けなど幅広くご利用いただけます。

会議室は、各室150名・70名・60名（2室あり）でご利用いただけます。

この他、特別会議室（円卓）は、スクール形式・シアター形式でのご利用（設営は別途有料）も可能です。



特別会議室（シアター形式）（3F）



古典芸能練習室（3F）

ギャラリー

ギャラリー棟（北側）

美術・書・手芸・工芸はもちろん、さまざまな作品の発表の場として活用いただいております。ホールや会議室などの他の施設と組み合わせてご利用いただくと、発表の場がさらに広がります。回遊式のギャラリーならではの良さをぜひご活用ください!!



第2ギャラリー（1F）



第3ギャラリー（2F）

詳しいお問い合わせは
栃木県総合文化センター指定管理者

（財）とちぎ未来づくり財団 利用サービス課

TEL 028(643)1000 FAX 028(643)1019

年末年始以外無休8:30～19:00受付

ホームページ <http://www.sobun-tochigi.jp/>

新規賛助会員御紹介

8月入会（個人）

船橋 政従 様（宇都宮市）

新沼 隆三 様（宇都宮市）

唯木 郁夫 様（足利市）

9月入会（個人）

阿部 博美 様（日光市） 横松 盛人 様（宇都宮市）

亀田 清 様（佐野市） 琴寄 昌男 様（栃木市）

中島 宏 様（宇都宮市） 平池 秀光 様（栃木市）

10月入会（個人）

一木 弘司 様（真岡市）

加藤 正一 様（足利市）

御入会ありがとうございます